

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子

～未来につながる きずなの学校～



学校だより No. 3

令和 8年 5月 7日

伊丹市立伊丹小学校

校長 植松 俊二

新緑がまぶしい季節となりました。子どもたちの表情にも、学校生活への慣れと成長が感じられるようになってきました。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今号では、伊丹小学校が大切にしている「すべての子どもを温かく見守る学校づくり」について、改めて皆さまと共有いたします。

すべての子どもたちを、同じように温かく見守る学校づくりめざして

本校では、いじめや不登校など、子どもたちが抱える課題に学校全体で丁寧に向き合っています。しかし、子どもを支える力は学校だけでは十分ではありません。「伊丹小学校に通うすべての子どもたちを、我が子と同じように温かく見守っていただきたい。」これは、学校・家庭・地域が共有したい大切な願いです。

子どもたちは、一人ひとり異なる個性や背景をもち、成長のペースも違います。だからこそ、周囲の大人が「比べる」のではなく、その子らしさを認め、励まし、支える存在でありたいと考えています。

子どもたちに育ってほしい力

● 主体性

自分で考え、選び、行動しようとする力

● 夢や希望を描く力

将来に向けて「やってみたい」

「なりたい」を持てること

● 自尊感情

「自分は大切な存在だ」と感じられる心の土台

● 挑戦する姿勢

失敗を恐れず、経験を成長の一部として

受け止める力。

伊丹小学校は、子どもたちが「自分らしくいい」と感じられる学校でありたいと願っています。そのために、学校・地域・家庭が手を取り合い、すべての子どもを同じように大切にす文化を、これからも皆さまと共につくってまいります。学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、社会総がかりで子どもたちを育てていきたいと考えていますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

学校 HP 随時更新中

